

もくじ

- ・ ひとつちななひき

ひとつちななひき

げんさく： グリムどうわ

イラスト： ナナホシ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし むかし、とある くにの
ちいさな まちに、
いっけんの したてやが ありました。
そこで はたらく『サム』という せいねんは、
まだわかいのに いいうでをしていると
ひょうばんでした。
しかし、サムは そのひょうばんを きいても、
ちっとも うれしくありませんでした。

なぜなら かれには、
おおきな ゆめが あったからです。

(ああ、ぼくは いつのひか、こころが
ふるえるような ぼうけんが したいなあ。
ぼくに、おおおとこを かんたんに
やっつけられるような ちからがあったら、
どんなに いいだろうか・・・)

サムは まいにち、
そんなことばかり かんがえていました。



5

あるひ、サムがいつものように
しごとをしていると、はえがすうひき、
サムがさぎょうをしている
つくえのまわりにあつまってきました。

「もう、うるさいなあ。あっちへいけ！」

サムはてもとにあったぬのきれで、
テーブルのうえをぱしりとたたきました。

そしてそっとぬのきれを
もちあげてみると・・・

いち、に、さん、よん・・・なんと
ななひきものはえがしんでいたのです。

